

▶特別会計

	国民健康保険	後期高齢者医療	下水道事業	墓地取得	介護保険	介護サービス
歳入	28億4,120万7千円	3億1,134万6千円	10億4,661万2千円	171万円	17億7,622万5千円	836万2千円
歳出	28億4,078万1千円	3億332万6千円	10億2,023万4千円	169万円	17億4,736万9千円	772万円

▶水道事業会計

	収益的収支…①	資本的収支…②
収入	5億7,951万1千円	4,113万6千円
支出	4億9,060万1千円	1億2,906万9千円

①水道事業等の経営活動により発生する収入（水道料金等）と支出（県水受水費等）のこと

②施設の建設、改良などに関する収入と支出のこと

平成28年度 業務状況 (給水戸数、給水人口は平成29年3月31日現在)

▶給水戸数	10,125戸	※有収水量とは、料金の対象となった水量のことで、町民1人1日当たり平均0.27m ³ 使用したことになります。
▶給水人口	23,674人	
▶有収水量※	2,348,578m ³	
▶1日平均有収水量	6,434m ³	

平成28年度 王寺町の決算

一般会計は、歳入（収入）が85億4,990万2千円、歳出（支出）が81億1,524万5千円で、翌年度に繰り越す財源を差し引いた収支額は、3億6,447万円となりました。

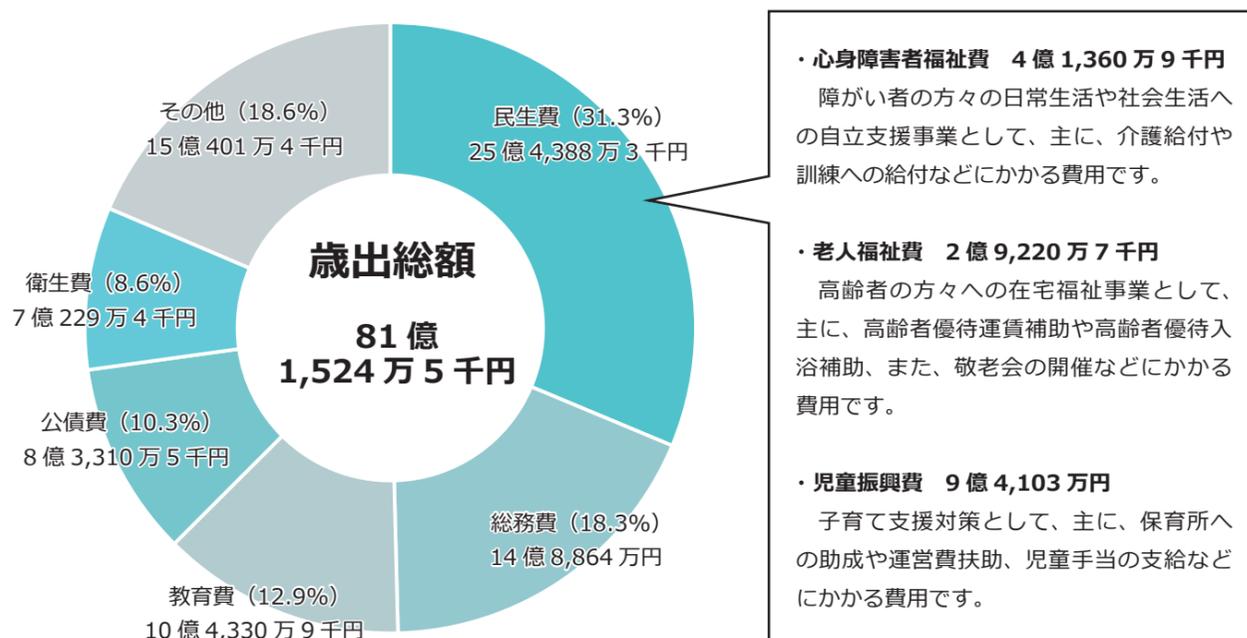
平成28年度も引き続き、コスト意識を持って経費の節減や自主財源の確保に積極的に取り組んだ結果、一般会計においては健全な黒字決算となりました。

また、将来の資金需要等に備える町の基金は、平成28年度決算時において前年度と比べ、4億3,328万円増の68億2,389万2千円となりました。

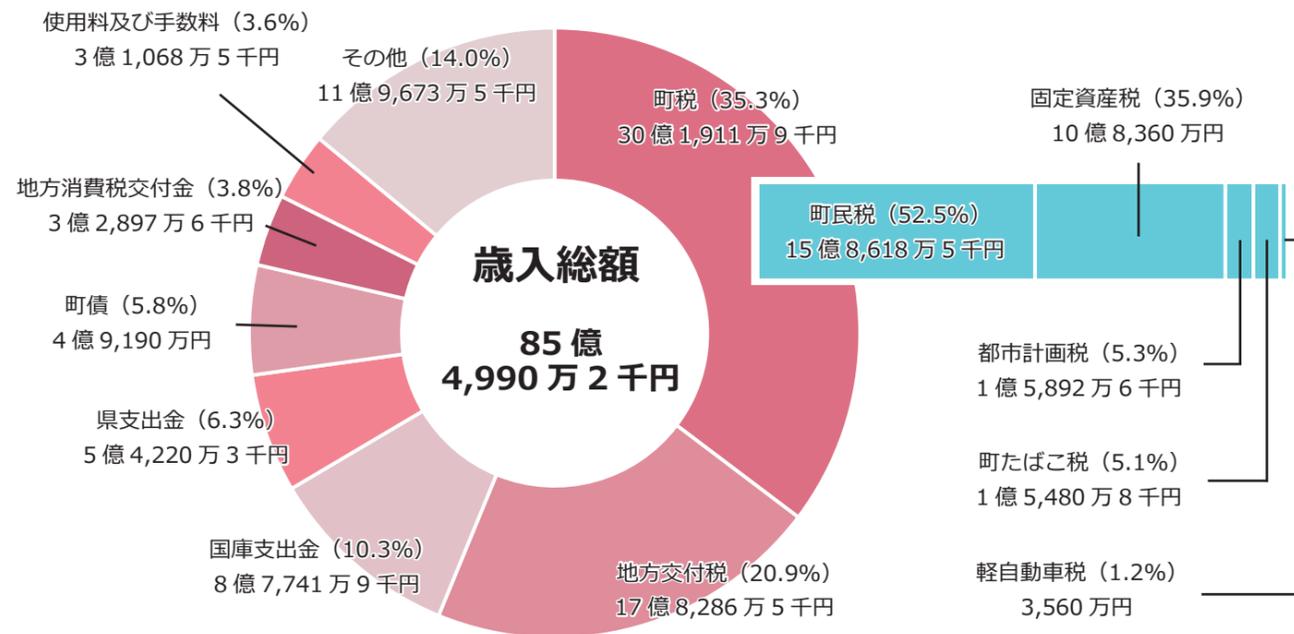
問：出納室（内線152・153）



一般会計の歳出



一般会計の歳入



ICTによる教育環境の整備と充実
児童・生徒の学習への興味・関心を高め、思考力などを育成することを目的に、各小学校に電子黒板（プロジェクターに黒板機能を持たせた機器）を配置しました。
また、各中学校のパソコン教室の機器などを更新するとともに、小中学校すべての教職員にパソコンを貸与するなど、ICT（情報通信技術）による教育環境の整備を図りました。

ICTによる教育環境の整備と充実

「太陽光発電システム等」の設置
災害時の避難所機能の強化だけでなく、子ども達への環境教育やエネルギー教育の教材としても活用できるように、王寺南小学校に設置しました。

「太陽光発電システム等」の設置

防災行政無線デジタル化事業
既設のアナログ無線を音声クリアなデジタル無線に更新する工事に併せ、他のメディアによる同時情報配信や、中距離スピーカー導入による音が到達するエリアの拡大などの整備を実施しました。

防災行政無線デジタル化事業

魅力づくりに取り組むため、山頂に『悠久の鐘』と展望デッキ『誓いのソラン』SORANI』を設置し、整備を行いました。
また、『雪丸ドローン』を使った観光プロモーションビデオ『雪丸散歩』を制作し、話題性のあるニュースとしてメディアでも取り上げられ、王寺町の認知度を高めるとともに首都圏や阪神地区などの都市部に王寺町の魅力を広く伝えるため発信しました。

観光振興の推進

町の重点観光スポット「明神山」の更なる

町公式サイトのリニューアル

町公式サイトを、見やすく整理されたトップページに更新するとともに、スマートフォンやタブレットでも見やすく表示されるよう、リニューアルしました。

子どものインフルエンザ予防接種費用の助成

インフルエンザの重症化予防と、子育てを支援するため、生後6ヶ月から小学6年生までと中学3年生及び高校3年生を対象に、ワクチン予防接種費用の一部を助成しました。

健康遊具の設置

日常生活の中で気軽に健康増進や体力づくりをさせていただけるよう、ウォーキングなどで利用される葛下川張井地区公園、相間の広場、畠田公園の3ヶ所に健康遊具を設置しました。

移住・定住促進事業

北葛城郡4町が連携を図り、『すむ・奈良・ほっかつ!!』移住促進事業を推進するとともに、王寺町への若者の転入や定住を促進・支援するため、3世代ファミリーや40歳以下の若い世帯に対し、住宅取得やリフォームに係る費用の助成を行いました。

平成28年度の主な事業の成果